

## 平成 24 年度第 4 回建築学教育 FD/ICT 活用研究委員会 議事概要

- I. 日時：平成 24 年度 9 月 28 日（金）10 時 00 分～12 時 00 分
- II. 場所：公益社会法人私立大学情報教育協会事務局・会議室
- III. 出席者：衣袋委員長、澤田委員、渡辺委員、関口アドバイザー、真下アドバイザー  
（事務局）井端事務局長、森下主幹、野本職員
- IV. 議事概要
  1. 用語解説について
    - ・ BIM(Building Information Modeling) 及び 3 次元オブジェクト CAD について、委員から解説案が提示され、追加することにした。
  2. 授業の仕組みに図を追加することについて
    - ・ 委員から 3 案提示され、その中の 1 案について、以下の意見で修正を行った。
    - ・ 上中下段の 3 段に分けて、「リサーチ」「BIM 及び周辺ツールの活用」「成果物、講評・評価」と区切りを入れることにした。
    - ・ リサーチとツール活用の間は双方向の矢印として、フィードバック、データ入力とした。
    - ・ 成果物の構成として、パースの表現は削除して、模型は VR 及び模型とした。また、ツール活用の間は双方向矢印として、フィードバック、表現・プレゼンテーションとした。
    - ・ 右側に「クラウド」を設定して、高性能サーバ、点群計測データ、高画質レンダリングを追加した。
    - ・ ツールの活用部分について 8 項目設定していたものを、統合して 6 項目にして、中心をプラットフォーム、3D オブジェクト CAD とした。
    - ・ 意匠と構造と設備をまとめた図面のくくりとして、構造シミュレーションは案から削除した。
    - ・ 施工としていたものを材料・施工にして、施工計画、積算、材料計画とした。
    - ・ 生産は、3D プリンタを削除してファシリティマネジメントを入れた。
    - ・ まちづくりは、都市計画、インフラ、安全を追加した。
    - ・ 解析シミュレーションは項目を洗い出して、流体、温熱、音、光、日影、力と変形、照明、行動に置き換えた。
- V. 次回の予定
  - ・ 図の修正をしたものをネットで確認し、教育改善モデルに追加することにした。